



12年前日記

2000年1月29日
(土)

山田夫妻

『12年前日記 2000年1月29日(土)』

【2000年1月29日(土)】*2012年1月29日(日)記

5時30分、ウネウネした山道らしきにつらうつらしている間にメソトのバスターミナルに到着。約8時間のバスの旅だったが、ぼったくりドライブインだ、3度の検問で寝たか寝てないかよく分からない。何がVIPバスだ！ぐったり疲れた体に朝の冷気が、チェンマイほどではないが結構寒い。群がってきたツウクツウクだモトサイドライバーから適当に選び、ツウクツウクで最寄りホテルまで連れて行って貰う(30B)。6時、『Siam Hotel』にチェックイン(180B)。水シャワーに、ファン。こんな寒い朝に水シャワーで旅の汚れを落とす気は起きず、そのままベットイン！13時、起床。とりあえず難民キャンプをさっそく訪れてみようと思う。取材パスなんかなくて、何とかなるさ、きっと。一路難民キャンプを目指し...まあ確かに取材したり、資料を読み込む限りではやっぱり取材パスがあったほうがいいし、れっきとした団体、組織がバックについていれば取材パスはのんびりとするが、個人だと超難しい感じ〜。しかも、いつもの如く、折りしも本日は土曜。ホント俺様が重い腰をあげて、せっかく何かしてやろうとするとかならず土日だ年末年始休みだ腰がガタガタ。まあ、難民キャンプも土日休みなのかは分からないが、いきなり初めて押しかけるのがお休みのところだと第一印象が悪い気がするし、難民キャンプの前に、すっかり忘れていたが初めての街恒例行事、メソト慣れをしておかなきゃいけないし。とりあえず街を少しブラブラ歩くことに。朝方はチェンマイ並みに冷えこんでいたが、昼間はバンコク並みに暑い。一石二鳥。ビルマ人が多いのが一目で分かる。ロンジーという巻きスカートみたいのを男がはいているからすぐ見分けがつく。これくらいは朝飯前の予習済み。後、宝石屋が多い。店の前に呼び込みまでいるが、俺のなり、つまりロンジーを巻いてないからか、声すら掛けてこない。いいの、そういうことにしといて。俺に声を掛けてくるのは相変わらずモトサイやツウクツウクのドライバーばっかし。ホントこいつらはうるさいハエどもだ。ということは、俺はでっかいウンコ？そうかあ、当らずも遠からず。って、誰がうんこじゃい、俺は単なるれっきとしたうんこ漏らしだ！どうどう、まあ、モトサイやツウクツウクとうまく交渉しても、ボッタくられた感が消えない。ソントウだかいう乗り合いトラックもあるようだが、乗り方も値段もいまいよく分からない。田舎はメータータクシーもスカイトレインもない。じゃあ、仕方ないなあ、ちょっと贅沢だけど、ホテルの近くにあるレンタバイク屋で、パスポートを人質に、レンタバイク(160B)を借りちゃおうかなあ。ハイ、借りた。システムはここも一緒。パスポートと100ドル、どっちかなんて、答えは決まっていて、選択の余地なぞない。その日暮らしどころか、その日すら暮らせないんだ、目先の金、パスポートの再発行料の方が安いんだから、そっちを選ぶに決まっている。100ドル盗まれるより、パスポート盗まれた方がマシだ。その場合、ボロバイクは貰えるし、貰えるのか？とにかくチェンマイよりやや高めにはワケあり。なんと24時間でこのお値段なのだ。チェンマイは長くて12時間くらいの日帰りで返さないといけなかったが、ん、本当にそうだろうか、まさか知らなかっただけかしら、十分ありえる、俺品質。兎にも角にもちょうど1ヶ月ぶりとなるブルンバイク。ま

ずはガソリンスタンドへガソリンを入れに行く（45B）。とりあえずメソト慣れが目的だが、探すとはなくあるはずもないマックと8番ラーメンを血眼で見つけようとするも徒労に終わる。まず食料の確保が最優先事項だからな。結局俺の日常食がないので、仕方なく俺の非常食のタイ飯の定食屋へ。「チキンカレー」と言ったら、なんかでっかいハンペンみたいのが出てくる。かっこつけて、カレーと言ったことを後悔、ちゃんと泥臭くカレー、うんこじゃないよと言ってさえおけば…。後の後悔はんぺん。仕方ないので追加で、トムヤムクンとライスを追加注文。全部で135B。味はねえ、まずくはない、おいしいと言ってもいい。でもさあ、タイ料理の真骨頂ってというのは、大和撫子のバカOLが日本の割高なタイ料理屋に行って、「ああ、本場のタイに行って、安くお腹いっぱい食べたいなあ」と遠くにありて思うもの。それが俺のグルメ結論。腹がいっぱいになったので戦だ。メソト慣れの前に、一ヶ月ぶりのバイク慣れ優先。主にバイクで街中をウロチョロする。長旅の疲れが残っているのか、バイクの振動で酔ったのか、なにやら体がダルイので、早めに帰ることに。せっかく24時間で借りたが、まあ、明日朝一で乗り回せばいいさ。18時、ホテルの駐車場にバイクを止めて、部屋に戻る。さすがに昼寝できないかと思ったが大成功。21時、バイクがあったが、夜でもう暗いから自重しておく。夕飯がてら夜の散歩としげこむ。熱すぎず冷たすぎずひんやり。昼間は見逃したというか、ちゃんとマジマジみなかったが、子供買春禁止の看板がいたところにある。子供売春反対の看板…ちゅうことはだ、ココでは簡単に買えちゃうのかしら、アレが？ 聖人君子面してきれいごとを言うつもりはない。でもロリコンではないので声を大にして言おうじゃないか、ロリコン全員死刑！いつか俺も結婚して中出しして子供ができるのだろうか。ふん、子供にも結婚にも興味は100パーなし。しかし、仮に超間違えて、そんなハメハメになってもきっと家庭を省みない、家庭に寄り付きもしないタイプのお父さんになることだろう、ガキは嫌いさ、結婚（爆笑）、でもね中出しして響きにはちょっと惹かれる自分がある。てか、やっぱ俺は死ぬまで孤独なロンリーウルフチョンガーがお似合いさ。どんなに遅くても40になる前には、戦場で流れ弾に当たって死ぬから。結婚する、家庭を持つ、子供を持つなんて小市民なこととはもっとも縁遠い生き方を選んだのだ遠の昔に、いや、そのように生まれ落ちた宿命でござる。ござる？なんて感傷ゴッコも、ちょっと目立たない感じのところに、昼間も通ったはずだがまったく気づかなかったセブンイレブンを発見したせつなに終了。丸いドーナツが6個くらい入ったダンキンだお菓子だなんなのファンシー系ばかりを攻めて、買い込む（37B）。21時30分、ホテルに戻る。ダンキンはちょっと都会の味がしたよ。特にすることもないので、一人でキャーキャー騒ぎながら、水シャワーを浴びる。以外にもちょっと楽しい。よいこのみんなも一度試してみそ。みそって言った！風呂上り、適当に拭いただけのフルチン姿でベットに腰掛け、真上のファンを死ぬほど浴びながら、タバコを吸う。凍え死にそうになる。でも、ちょっと楽しい。1時、いつまでも馬鹿なことばかりしてないで早く寝なさい就寝。（2012年な俺です。メソト二大事件の一発目が明日か明後日のどちらかに起こります。あのときの子が無事に育っていれば、もうあのときの子と同じ12才かあ～、なんて嘘口マンス事件なんかじゃありませんのであしからず。もっと硬派な血が沸き立つような事件二連発、自称プロ戦場特派員の神もメソトに地方出張中だったみたい、一緒にメソトに来たのかしらん、ストーカー貧乏神め）。

○本日の出費、「計算するのが面倒臭いから、各々で適当にしといてよ」B。ついでに一日の流れも「いちいちうっとうしいから誰か簡単にまとめといて」ジャ～。

『12年前日記 2000年1月29日(土)』

<http://p.booklog.jp/book/43320>

著者：山田夫妻

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/yamadafusai/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/43320>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/43320>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier (<http://p.booklog.jp/>)

運営会社：株式会社paperboy&co.